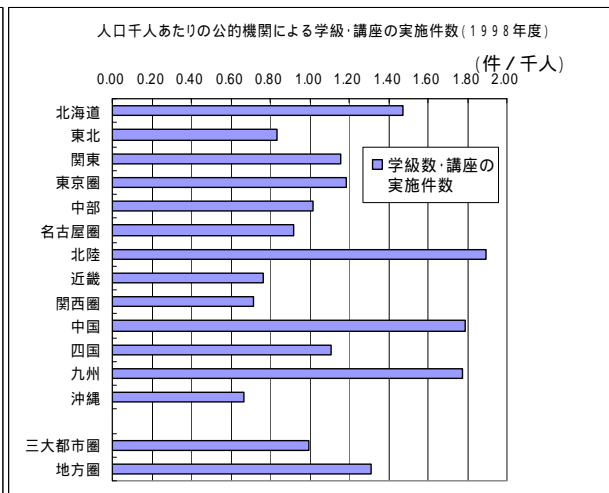
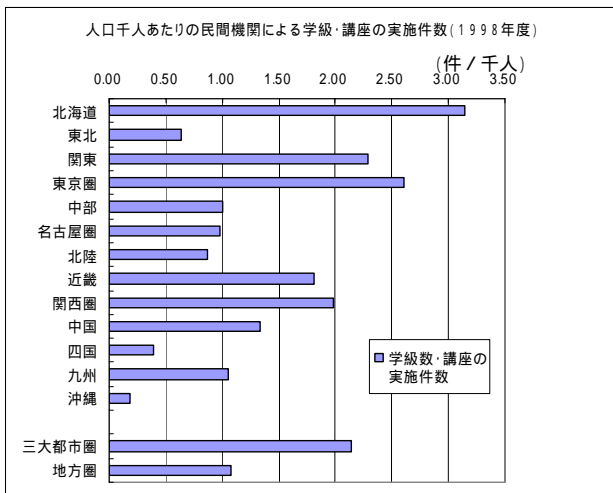


指標：人口千人あたり社会学級・講座の実施件数（ブロック・圏域別）

人口千人あたり社会学級・講座の実施件数を地域別にみると、大都市圏においては民間機関が主な担い手であるのに対し、地方圏では公的機関が主な担い手となっている。



(出典) 、とも文部科学省生涯学習政策局「社会教育調査報告書平成11年度」に基づき国土交通省国土計画局作成

注)実施件数については、平成10年度間(平成10年4月1日から平成11年3月31日までの一年間)の統計である。

については、(生涯学習・社会教育関係法人における講座の実施件数+事業所(民間において市民を対象に学級・講座を実施した事業所)における学級・講座の実施件数) / 人口

については(教育委員会における社会教育学級・講座の実施件数+都道府県知事部局・市町村部局における学級・講座の実施件数) / 人口として算出。